

直江兼続と地球泉隊のーりんジャー

～6人の若者たちが直江兼続の愛と義を受け継いだ～



直江兼続公は南魚沼に生まれ育った戦国の英傑で、平成21年NHK大河ドラマ「天地人」の主人公です。「愛と義」を掲げ、主君の上杉景勝公とともに戦国の世を駆け抜けました。

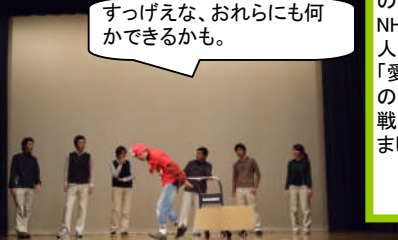
H19.12.8 田んぼと森のいのちのまつり



でも、実感わかないよな。



自分で動かないと何にも始まりませんから。



すっげえな、おれらにも何かできるかも。

南魚沼地域振興局農林振興部に勤める6人の若者たち、ホナミ、アツヒロ、タエコ、コウ、ケイスケ、カツミ。農林業を通じても環境問題をひしひしと感じ始めていた。



ある日、6人はエコレンジャーレッドと名乗る若者（南魚沼に実在）と出会う。なんと彼は一人でリヤカーを引き、ごみを拾いながら日本を縦断しているのだった。エコレンジャーレッドの行動に6人は衝撃を受ける。

「循環型社会の土台は農業と林業だ。自分たちも環境のために仕事を通じて何かやっけていけるんじゃないか。」と6人は意気込んだ。そこにひょいとまた現れたエコレンジャーレッドは謎の言葉を残していった。「気持ちがへこんだり、疲れちゃったら、南魚沼の中心で愛を叫ぶといいですよ。」



ハイズカズンバズンバズンバ  
ハイズカズンバズンバ  
せーの、あいひいひい！

「愛とはこの世で最も尊きもの」

夜空から声が響く。そして...



なんと、そこに現れたのは直江兼続であった。

地球大の愛と義を掲げるのだ。



自信ないっす。でもなんか力もりもりしてきた。

行くがよい。のーりんジャーたちよ。

兼続さま、すてき！好き！

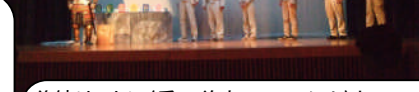


ぼくはオープンホールくんた。

おれは地球温暖くんた。

おれだって環境ホルモンくんたぞ。

時を超えて現れた直江兼続は、若者たちに地球と人間の危機を告げるのだった。「戦国の世よりもさらに人は目先の利を追い、戦争はやまず、地球環境は危機に陥っている。今、持続可能な未来へ新しい道を歩まねばならぬ。」



兼続は6人に〈愛の前立てヘルメット〉と〈のーりんジャーベスト〉を手渡す。「『地球泉隊のーりんジャー』この名を送ろう。『地球泉隊のーりんジャー』これをつけて立ち上がってほしい。この南魚沼から共生と循環の時代を創っていくのだ。」

兼続の姿が消えた後、闇の中から突然怪しい3人が現れた！「人間なんか嫌いだー」3怪人は6人に襲いかかった。



私はまごころレンジャー！

兼続の声が響く。

「あの怪しき者たちはそなた達の心の影。地球環境の危機は人の心の影、欲望や傲慢が生み出したもの。あの勇者は人の心の光。しかし、心の影も光もそなた達の一部なのだ。」

颯爽と6人を助けに登場した「まごころレンジャー」は3怪人を倒した後、なぜか3人を助け起こしたわりながら去っていった。

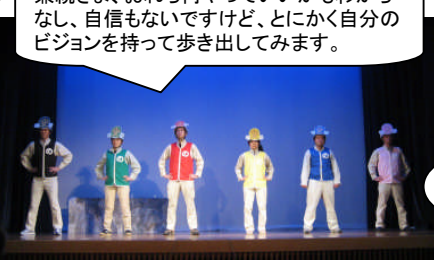
「どこまでも自分が信じる道を行くがよい。自分自身の愛と義を掲げて。私はいつもそなた達とともに歩んでいる。」

兼続さま、おれら何やっけていいかもわからなし、自信もないですけど、とにかく自分のビジョンを持って歩き出してみます。

兼続の愛を胸に、地球と人の心に新たな泉を！地球泉隊のーりんジャー、見参！

何だったんだいったい。。。

兼続さん哲学的すぎっす。でもやってみます。



ブラック  
グリーン  
レッド  
イエロー  
ブルー  
ピンク